

私たちの職場 大分事業所は、北に瀬戸内海、西に由布・鶴見の山々、東に大野川を配した大分市の一角に立地しています。九州地区にある唯一の事業所として、環境・電子・工業支援の分野で、九州周辺のお客様のご期待に応えていくという役割を担っています。

環境グループは、南国育ちらしい明るさをそなえたエネルギッシュなメンバーで構成され、大気や水質のサンプリングに九州全域を駆け回り、測定では迅速かつ正確な業務の遂行に日々取り組んでいます。

[主な業務内容]

1. 水質汚濁、大気汚染、悪臭、土壌汚染、産業廃棄物、環境アセスメント等法規制による測定業務
2. 作業環境測定
3. 河川水質、底質、魚貝類、藻類、水中生物、微生物等の環境調査
4. 建築物飲料水水質検査
5. 工場における製造用水の水質測定、製造工程での局部排水測定等

以上のような従来型の測定業務に加えて、次に示しますような新しい法規制に関する測定や電子分野のお客様の様々なニーズにも応えています。

1. 有害大気汚染物質の測定
2. ダイオキシン類の測定
3. 環境大気の臭気成分の構造解析
4. 半導体関係クリーンルームエアー中の微量無機・有機成分の測定
5. 半導体関係スクラパー排ガス中の微量無機・有機成分の測定



左から橋本、深町、狩生、後藤、村谷

さて、当社の経営方針の一つに“顧客満足に徹した会社をめざす”があり、そのための行動基準として「Speedy」、「Cost-conscious」、「Accurate」、「Service」が設けられています。

私たちはこの行動基準を常に念頭におきながら、いろいろな取り組みを展開しています。

[正確性と信頼性の確保]

すでに、濃度計量証明事業、作業環境測定、建築物飲料水水質検査の各登録事業所としての品質管理体制および動物用飲料水対応のGLP品質管理体制を整えています。現在はそれを包含するためにISO 9001認証取得に向けた品質システムづくりに取り組んでいます。

さらに一層、質の高い信頼できるデータの提供ができるものと確信します。

[より早く、より安くの追求]

測定業務の省力化に向けての自動機器の導入はもちろんのこと、測定方法の統合、再測定業務の解析等、人・物・機器・方法の角度から徹底的に解析を行い、問題点を抽出し対策をたて標準化するという努力を継続しています。



後列左から阿南、指原、内田
中列左から平野、指原、敷島、岩崎、松本、三浦、幸
前列左から脇谷、村谷、黒木、甲斐、深浦、仲摩、佐藤

[自然との調和を求めて]

環境に関する最近の話題は



二つあります。一つは、地球温暖化問題、オゾン層破壊の問題など地球環境保全。二つめは、有害大気汚染物質（ダイオキシン類を含む）として規制された発がん性物質、最近日本で出版された「OUR STOLEN FUTURE」で取り上げられている環境ホルモン物質（外因性内分泌攪乱物質）など人体に対して有害な物質です。

高度に発達した現代文明の裏側では、ある特定の合成化学物質がガンなどの病気を誘発するだけでなく生殖障害というかたちで“生命の根源”を、また、日々の生産活動を通して人類のみならず地球そのものの存在をも脅かしつつあります。

このため、国際的な政治の場では「国際環境開発会議（アジェンダ21）」、民間企業レベルでは「環境マネージメントシステム（ISO 14001）の構築」「環境汚染物質に係る排出・移動登録（PRTR）システム」等自主的な取り組みが活発に進められています。

私たちはこうした国際的な取り組みに対して、ただ単に測定するだけにとどまらず、いち早く情報を入手し、必要とされる新規技術の開発にも全力を注いでいます。

最後に、私たちは環境分析という業務を通して、「広く世の中に貢献できること」「お客様のお役にたてること」を働きがい、生きがいとし日々前進を続けます。